



予算公表

平成30年度

南部水道企業団の予算概要

水道事業をはじめとする公営企業の予算では、年度内の収入と支出全体を、事業の運営にかかる経常的な営業収支（収益的収支）と、施設整備の経費と財政の管理をする収支（資本的収支）に分けて内容を明確に示すこととされています。

業務予定量

平成30年度の業務予定は、給水戸数が19,898戸で、前年度当初予算に比べ277戸の増加、給水人口についても70,491人で、前年度に比べ780人の増加を見込んでおります。

また、年間総配水量は7,550,390㎥で前年度に比べ62,050㎥の増加、年間有収水量についても7,187,216㎥で、前年度に比べ59,066㎥を見込んでおります。

収益的収支（損益計算書ベース）

収益的収支については、総事業収益は1,626,334千円（対前年度比4.5%増加）で、総事業費用は1,558,849千円（対前年度比5.1%増加）となっております。総事業収益から総事業費用を差し引いた当年度純利益見込額は67,485千円となります。

内 訳	予算額(税抜)
収 入	16億2,633万4千円
給水収益	14億1,215万4千円
その他の営業収益	4,911万4千円
営業収益以外の収益	1億6,506万6千円
支 出	15億5,884万9千円
人件費	2億202万円
動力費	3,425万9千円
薬品費	46万3千円
修繕費	7,548万円
委託料	1億2,307万9千円
その他の維持管理費	6,119万8千円
受水費	6億8,798万8千円
減価償却費	2億6,954万9千円
資産減耗費	7,325万1千円
支払利息	3,135万8千円
その他雑費支出	20万4千円
当年純利益	6,748万5千円

その他営業収益：下水道料金徴収事務受託料、消火栓の維持管理負担金などがあります。

営業収益以外の収益：長期前受金戻入が主になっています。他に配水管移設補償金、預金利息、料金の督促料などが含まれます。

動力費：浄水場、ポンプ場などの運転にかかる費用です。

薬品費：原水から安全な水道水をつくるために必要な薬品を購入します。

修繕費：施設や管路の補修にかかる費用です。

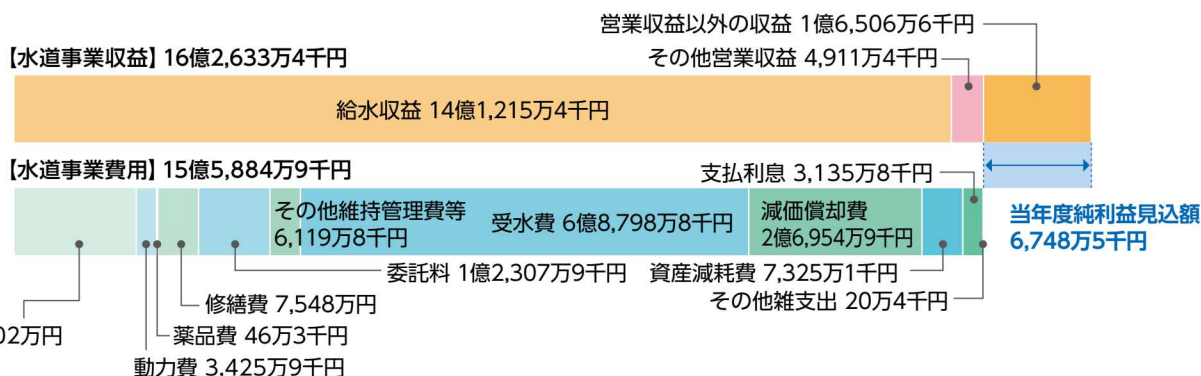
委託料：人件費削減・抑制が期待できる分野で、専門技術を持った民間企業などへの業務委託に係る費用です。

その他維持管理費等：燃料費、光熱費、備消耗品費などが含まれます。

減価償却費：施設や備品などの資産価値が減少していく金額を費用化したものです。現金の支出を伴わない費用です。

資産減耗費：不要になったり、使用不可能などにより処分した資産の残った資産価値を減額します。現金などの支出がない費用です。

収益的収支



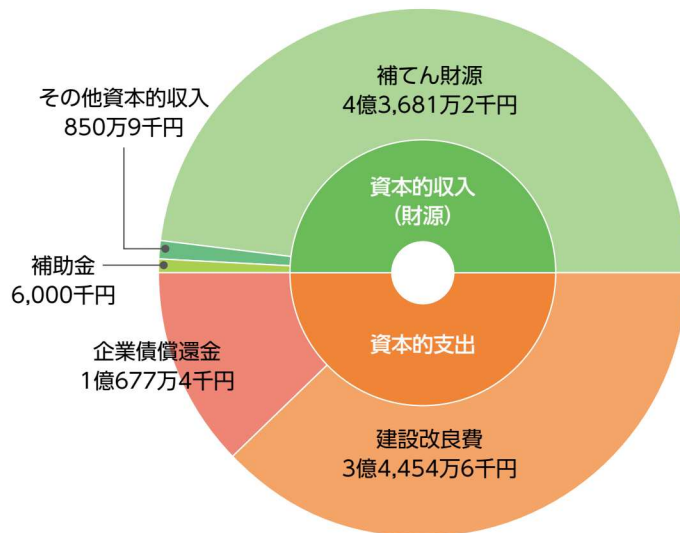
資本的収支

資本的収入は、沖縄簡易水道施設整備費国庫補助事業に係る補助金6,000千円、その他の資本的収入850万7千円で総額1,450万9千円を見込んでおります。資本的支出としては、建設改良費3億4,454万6千円、企業債償還金1億677万5千円の総額4億5,132万1千円となっております。資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額4億3,681万2千円は当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額705万円と減債積立金1億677万4千円及び過年度分損益勘定留保資金3億2,298万8千円で補てんすることとしております。

資本的 収支



内 訳	予算額(税込)
収入	1,450万9千円
補助金	6,000千円
その他資本的収入	850万9千円
支出	4億5,132万1千円
建設改良費	3億4,454万6千円
企業債償還金	1億677万4千円
収支差引	△4億3,681万2千円
補てん財源	4億3,681万2千円
当年度分消費税及び 地方消費税資本的収支調整額	705万円
減債積立金	1億677万4千円
過年度分損益勘定留保資金	3億2,298万8千円



平成30年度の主な事業

平成30年度は、南風原町津嘉山北土地区画整理地区の管路整備を図る工事をはじめとして、送配水施設整備事業は、老朽配水支管更新事業、消火栓設置工事等を行ってまいります。

沖縄簡易水道等施設整備費国庫補助事業は12,000千円(財源内訳として国庫補助金6,000千円、自己資金6,000千円)となっております。

また送配水施設整備事業は2億7,157万5千円、消火栓設置工事等は922万3千円を計上しております。

水道事業は、利用者の皆さまからお支払い頂いた水道料金で運営されております。

この水道料金は、安全で良質な水道水を安全的に供給するために必要な水道施設の整備や維持管理などの費用に使われております。今後とも効率的で健全な事業経営に継続して取り組んでまいります。